

飯伊地区 産業経済動向

No.545 2024/8
(6.9.25 発行)

 飯田信用金庫
IIDA SHINKIN BANK
しんきん南信州地域研究所

<https://www.iidashinkin.co.jp/>
〒395-0044 飯田市本町1-2
TEL 0265-53-5811 FAX 0265-53-1132



Contents

表紙 写真：青崩峠トンネル（仮称）と小嵐バイパスの現況（飯田市南信濃・9月4日撮影）	P 1
製造業 景況DIは前月から悪化。食品製造では酷暑による影響を指摘する声も	P 2
建設業 8月の公共工事は前年比やや増加。7月の住宅着工は前年比5%増加	P 4
商業・サービス業 景況DIは前月から改善。宿泊業では台風の影響を指摘する声が多数	P 5
しんきんリニア・三遠南信対策室です 工期の延長が相次いで発表されるリニア各工区 ～厳しい自然条件・作業員確保～	P 6
三遠南信3シンクタンク共同調査 飯田の気温	P 8
飯伊地区全産業景況DIの推移・主要経済指標	P 10

◆ 本誌内容は飯田信用金庫ホームページ（<https://www.iidashinkin.co.jp/>）に全文掲載しています ◆

本誌は、当金庫が信頼できると考えるデータに基づき作成されておりますが、データ、記述の正確性、完全性を保証するものではありません。御利用に当たってはご自身の判断によってください。

しんきんは環境にやさしい取り組みを地元のみならずともに行っています。



再生紙を
使用しています

地区内製造業の景況判断指数

概況 景況DIは前月から悪化。食品製造では酷暑による影響を指摘する声も

当月の製造業の業況判断指数（DI）はマイナス23.1で、前月から27.5ポイント低下。翌月予測はプラス15.0で、前月から12.7ポイント上昇。機械製造、食品製造、その他製造それぞれで景況感が悪化したとの声が多く、指数を押し下げた。盆月で稼働日数が少ない影響を指摘する声のほか、食品製造では酷暑による原材料への影響や、消費動向への影響を指摘する声も聞かれた。先行きについては、機械製造、食品製造ともに好転を見込む声やや多い。半導体分野では一部に好転見込みの声があるが、慎重な声も依然として多い。

主な業種の動き

●電気・精密・光学

- ☑受注、販売… 販売、受注ともに前月比は業者により増減分かれるが、販売は減少の声やや多い。先行きについては、販売、受注ともに減少見込みの声やや多い。
- ☑景況感…… 当月の景況感は横ばいとの声が多い。先行きは好転見込みと悪化見込みの声が拮抗。

[企業からのコメント]

- ・会社ごとに景況感が分かれるため、人材の流動性が高くなっているように思える。人材の絶対量は減少しているが、それと共に流動性が高くなっている。設備投資は人材確保と一体で動かないと意味がなく、今後自動化が進めばより一層設備、土地および専門性の高い人材が必要となり、資金力が豊富な会社が生き残っていくことになる。
- ・物価高、材料高の影響を製品単価に反映するには限界もあり、高付加価値型のビジネスモデルへの転換の重要性を感じる。

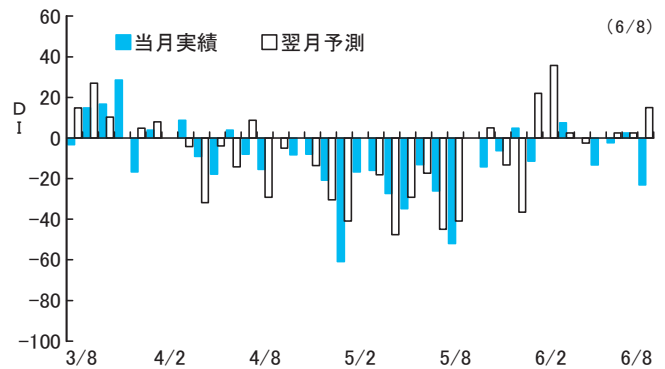
●半導体、液晶製造装置向け機械部品

- ☑受注、販売… 受注の前月比は増加との声が多く、販売は減少～横ばい。販売の先行きは増加を見込む声やや多い。
- ☑景況感…… 当月の景況感は業者により見方が分かれるが、横ばいとの声が多い。先行きは横ばい～やや好転。

[企業からのコメント]

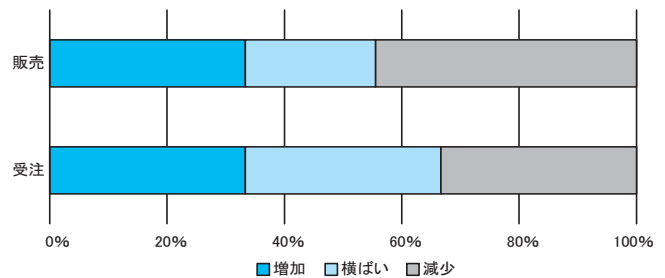
- ・「生成AI向けHBM組込工程の需要が発生しており、受注残高が積み増しになっている。年度明けには一旦落ち着くものの、2025年7月から再投資計画の予定となっている。全体像として、半導体前工程は徐々に需要が増加し、後工程は同水準が継続している」「半導体業界はNVIDIAを中心に好調な情報を見聞きするが、取引先の需要は上がってこない。好調な企業もあると思うが、同業で好調との話は聞かない。先行きは不透明な状況である」「半導体製造装置メーカーの市況が長期にわたり停滞している。新規開発案件活発にはあるものの、製造に関しては秋以降上がるとの年初の予測が外れ、本格稼働は年明けになる見込み」「同業他社（主に県外）も、受注が上がってこないとの話が多く聞かれる」
- ・「生成AIがブームとなっているが、心配事は最終デバイス（PCやスマホ）に搭載された機種種の需要が爆発的に生まれるのか？という点で、懐疑的に思っているサプライヤが殆ど。次に需要が落ちる時に備え、他業種へアプローチしているサプライヤが多い」「自社で商品の値を決め、価格競争に巻き込まれず、売上が落ちない商品力、技術力を身につけなくてはと感じる」

飯伊地区景況DI（製造業）

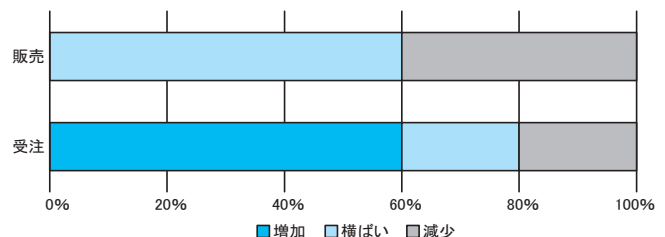


【DI（ディフュージョン・インデックス）】とは…
 景気に関する投票を指数化したもので、全体の回答数を分母、良い、やや良いとの回答数を分子にした割合から、全体の回答数を分母、悪い、やや悪いとした回答数を分子にした割合を引いた数値。
 「先月と比べて景気が良い」との回答が多ければプラス、「先月と比べて景気が悪い」との回答が多ければマイナスとなる。

電気・精密・光学向け部品前月比回答割合



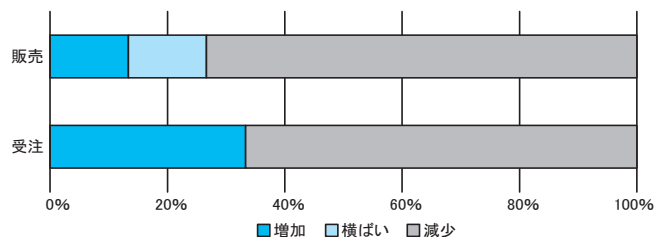
半導体、液晶製造装置向け部品前月比回答割合



●産業機器、医療機器向け等機械部品

- ☑受注、販売… 販売、受注ともに、減少との声が多い。先行きについては、受注は増加見込みの声と減少見込みの声が拮抗しており、販売は増加見込みの声が多い。
- ☑景況感…… 当月は悪化との声はやや多い。次月以降は、好転見込みとの声はやや多い。

産業機器、医療機器向け部品前月比回答割合



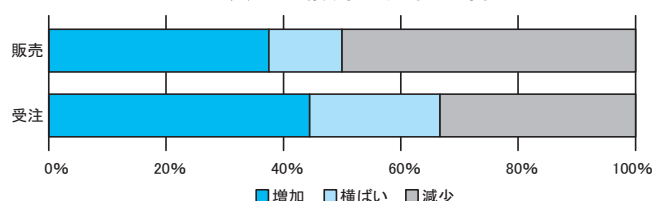
[企業からのコメント]

- ・「8月は稼働日数が減り、売上高は減ったものの、日当たり売上は7月と変わらず。産業機器部品関連は、昨年の状況より改善。車輛関係部品は、中国市場の販売不振の影響もあり受注減」「自動車開発関連は昨年末頃から低調だったが、7月くらいから動きが出てきている。ただ、アメリカ大統領選が終わるまでは大きな変化はないのではないかと思う」「航空機分野を中心として、全体的に受注が上がってきている」「全体的に停滞していて、先が見えてこないとの声を聞く」
- ・建機やロボットなどまだ厳しい業界があり、地域の会社でも、忙しい会社、仕事が少ない会社に分かれているように感じる。
- ・「今のところ課題としてみているところは、金利上昇」「金利上昇の影響が気になる」

●食品製造（漬物、半生菓子、菓子原料、その他食品）

- ☑売上…… 漬物の前月比は業者により増減分かれる。菓子の前月比は減少との声が多い。先行きについては、増加を見込む声はやや多い。
- ☑景況感… 当月は悪化したとの声はやや多い。一方で、先行きは好転を見込む声はやや多い。

食品製造 前月比回答割合



[企業からのコメント]

- ・「8月のお盆前受注は前年並みまで回復した。お盆期間中の県内観光売店向けの販売は増加」「例年に比べ運送が全面的に止まる日が長くなり、稼働日数が少なくなりました。猛暑も値上げラッシュも響いた」「7～8月と猛暑が続いた影響からか、既存売上について低水準となった」「食品全般の値上がりに加え、酷暑も消費減退の一因になっていると感じる。お盆の時期は消費が盛り上がる時期であったが、年々その傾向が無くなっていくように感じる」「値上げの影響で販売が低迷している」
- ・「酷暑が続く、原材料である野菜の生育にも大きな影響が出ている。価格高騰のみならず、品物がない状況も散見される。今後、農業従事者のさらなる減少、気候変動、酷暑の定着など、農産物を取り巻く環境は厳しいと感じる」「異常気象の影響で原材料が逼迫し、大幅な出荷制限を強いられている」「米不足など、年々さまざまな原料確保が厳しくなりつつあり、予定していた商品など狙った時期に製造や発売ができない状況が発生している」
- ・省人化に向けた投資を実施したいが、需要が回復しないため、積極的な投資志向にならない。

●水引製品、冠婚葬祭・祝儀用品、正月・盆用品

- ☑売上… 前月比は横ばい。景況感はやや悪化～横ばいで、先行きは好転を見込むという。

[企業からのコメント]

- ・縁起物需要期は年末に集中の為、現在は生産に集中。受注対応に追われている。年間を通じ前半は既製品計画生産、後半の多くは得意先様オリジナル商品の受注生産。各地夏祭りシーズンを迎え、多くの人出で昨今稀に見る賑わいを感じられる。
- ・8月は酷暑と台風の迷走で販売低調だった。一時低迷していた商品も9月からは出荷の見通しがつき、安堵している。

●上記以外の製造業

- ☑建築用金属製品… 販売は前月比でやや増加、前年比でも増加。景況感はやや悪化～横ばいで、先行きも大きな変化はない見通しという。
- ☑自動車向け部品… 販売は前月比でやや減少。景況感はやや悪化。
- ☑印刷…… 販売は前月比では減少、前年比は業者により増減分かれる。

[企業からのコメント]

- ・ゼネコンの職員不足、現場の完全週休二日制等により、建築現場はどれも工事が遅れている。
- ・「8月は稼働日数も少なかったが、仕事も過去になく少なく、売上は大幅減少。季節要因も大きい。今後への不安が大きくなる。選挙関係やスポット品の受注に今後期待したいところ」「盆前の稼ぎ時ではあったが、今年は連休が長くなったため、売上は悪かった」
- ・「先月に引き続き、資材値上げの話が仕入れ先から出てくる。顧客の理解を得ながら価格転嫁していきたいところだが、同業間での足並みが揃うか懸念される」「秋口になると、印刷資材の原料価格がメーカーから15%以上値上げされる。コロナ禍が過ぎてても以前のような活発さが見えない」

建設業

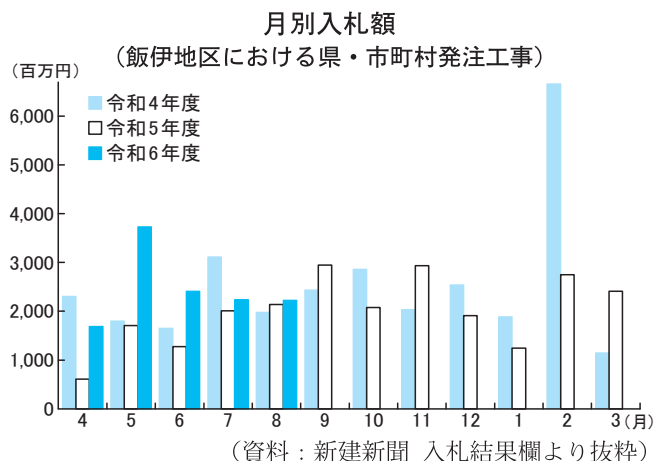
官公需

概況 8月の公共工事入札金額は前年比で3.9%増加、一昨年比では12.6%増加

☑公共工事入札額… 当地区における当月の県、市町村発注工事の入札額合計は、約22.2億円（9月15日調査時点）。前年と比べ3.9%増加、2年前との比較では12.6%増加。

☑景況感…………… 当月は横ばいとの声が多くを占める。先行きについても横ばいとの声が多いが、一部に悪化を見込むとの声もあった。

☑原材料価格…………… 当月、先行きともに、横ばいとの声と上昇の声が半々という状況で、下降との声はなかった。



[企業からのコメント]

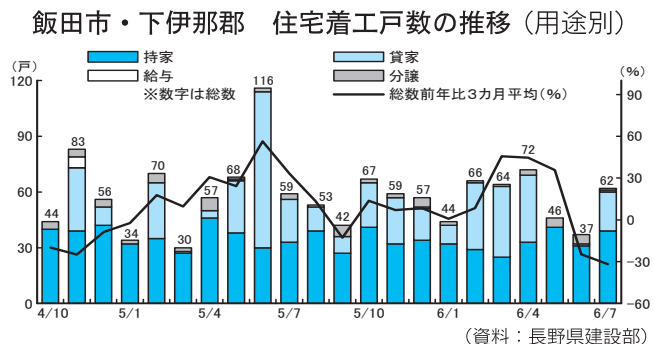
- ・「前年同月よりも受注金額は増加している」「大型工事の受注はないが、工事量はある。今後の受注残高は、災害関連工事の有無による」「公共事業が少しずつ出ているが、大きく貢献するほどのものはない」
- ・「技術者が不足。技術者や営業等は通年で募集」「施工社員が不足」「作業員、ダンプの運転手を募集する予定」「人員が不足しており、今後も不足の状況は続く見通し」

民需

概況 令和6年7月の住宅着工戸数は62戸で前年比5%増加。貸家、分譲は減少も、持家が増加し、3か月ぶりに前年比プラス

☑住宅着工戸数… 当地区の7月の住宅着工戸数は62戸。前月比68%増、前年比では5%増。持家の戸数は39件で前年（33件）から増加。貸家が21件で前年（23件）からやや減少。分譲は1件で、前年（3件）から減少。

☑景況感…………… 当月は横ばいとの声が多いが、一部に好転との声も。悪化との声はなかった。先行きは横ばいとの声が多い。



[企業からのコメント]

- ・「住宅需要は夏休み明けて本格的に動き出しそう」「新築住宅とリフォームはボツボツといったところ」「電気設備業界は、総じて忙しい状況」
- ・各社で依頼する下請けや職人はダブっているところがあるため、仕事が少し出ると引っ張り合いになる。大工は仕事が多いらしく、手一杯の様子。

建設資材等

概況 8月の生コンの売上は前月比減少、前年比は業者により増減分かれる。骨材も前月比は減少、前年比は業者により増減分かれる

☑生コン … 売上は前月比は減少、前年比は業者により増減分かれる。

☑骨材 … 売上は前月比減少、前年比では業者により増減分かれる。

[企業からのコメント]

- ・当月の生コンの主な出荷は、リニア関連工事、三遠南信工事、保育園・病院・工場・マンション建設等に関わるものだった。リニア関連工事の出荷量は、当月出荷量全体の2割弱。
- ・8月は売上が非常に少ない月となった。7月もそうだったが、一般建設工事が少なく、リニア関連のおかげで何とかなっているという状況。特に生コンの需要が少なく、生コン業界から聞こえてくるのも「リニアのおかげ」という声。三遠南信自動車道の6号トンネルを担当する砂利業者は、それでもいくらか恩恵を受けている。
- ・「発電所の関係の工事の動きが出てきた。秋口から忙しくなってくる」「9月以降のリニア工事は7～8月よりも期待が持てる工程なので、挽回を予定している」
- ・地元建設業は、休みを前年より多く取っている会社が見られるが、まだまだこの業界は変化していくことが難しい。人手不足はさらに深刻。

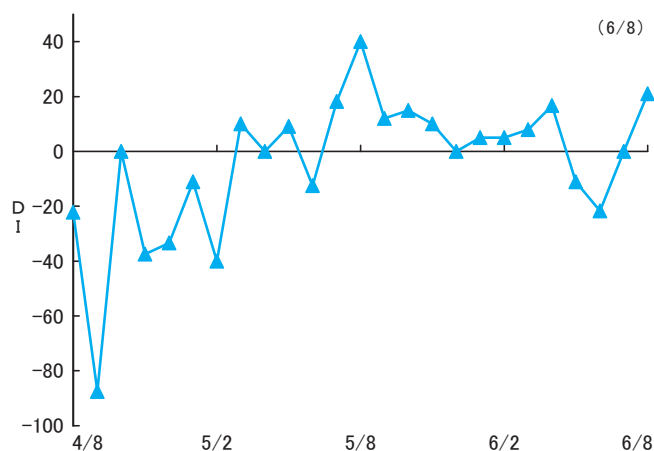
概況 景況DIは前月から改善。宿泊業では台風の影響を指摘する声が多数

当月の商業・サービス業の業況判断指数（DI）は21.1で、前月から21.1ポイント上昇。

今月は小売業の一部で景況感が悪化したとの声が聞かれたが、それ以外の業種では景況感が悪化したとの声はなかった。夏休みの観光シーズンを迎え、飲食業、宿泊業で売上が増加したとの声が聞かれたほか、卸売業でも猛暑の影響でエアコンの売上が好調との声も聞かれた。一方、月末の台風10号の影響により、特に宿泊業でキャンセルが多数発生したとの声が複数聞かれ、盛り上がっていた観光需要に水を差された格好となった。

次月以降は、8月の観光シーズンが終わったことで、景況感悪化を見込む声が多い。

商業・サービスDI



主な業種の動き

●小売業 概況 売上の前月比は業者により増減分かれる。先行きについても同様

☑売上 … 前月比、先行きとも業者により増減分かれる。

☑景況感 … 当月は業者により見方が分かれる。先行きはやや悪化～横ばい。

[企業からのコメント]

・「盆の特売商品の動きが良く、売上を押し上げた」「猛暑の影響で来店客が大幅減少。値上げラッシュや値上げ対策商品券がなくなった反動もあった」「物価高が止まらず、買い控えが起きている」「水や米の売上が増加。帰省客が大量買い」

●卸売業 概況 売上の前月比は増加との声が多い。景況感は横ばいの声が多い

☑売上 … 青果、食肉、電設資材は前月比やや増加。菓子は前月比やや減少。

[企業からのコメント]

・野菜は、猛暑が続いているが安定した天候に恵まれ、どの品目も好調。白菜は入荷、売上ともに好調、夏野菜のトマト、ピーマンも売上増加。果実は、主力の桃はピークを迎え入荷は昨年比で大幅増。りんご、梨のシーズンとなり、こちらも全身出荷傾向で入荷を伸ばした。特に梨は価格高で、売上も大幅に増加。今年の梨は甘みが強く、さらに売上を伸ばすことに期待。

・公共物件や工場を中心とした大型物件設備関連商材の受注が増加した。一方、住宅着工数の減少により一般住宅向け設備関連商材は厳しい内容になった。例外として、季節商品であるエアコンは堅調。また、地震や災害に備える動きが活発化しており、防災関連商材である「非常用発電機・蓄電池等」の引き合いが急増している。今後は、老朽化した設備の更新や、民間企業のリニューアル等の需要が高まりそう。

・夏の販促セールで売上は伸びたが、猛暑で人流が増えず、物価高騰による購買意欲の減退も感じる。

●飲食・宿泊・運輸業 概況 売上の前月比は、飲食業、宿泊業ともに増加との声が多い。

景況感は、飲食業、宿泊業とも横ばい～やや好転で、悪化との声はない

☑売上 … 飲食業、宿泊業の前月比は増加との声が多い。運輸業は前月比、前年比ともやや増加。

[企業からのコメント]

・「7月は昨年より数字が少し悪く心配していたが、8月は昨年同期より伸びて一安心。大口の忘新年会の予約は既に入ってきている」「8月は宴会がそこそこあった。台風10号によるキャンセルがあり、波があったが昨年よりは売上増加」

・「全体的に観光需要が良くなり、早い時期から8月の予約が入り始めた。最終週の台風の影響で、稼働率は昨対比で下がったが、全体の売上は増加した」「台風情報に振り回され、キャンセルの期間が長期化し売上を伸ばすチャンスを失った。ただ、夏休み特需を見込んでの価格帯の変更が功を奏した感じがある」「台風10号の迷走によりキャンセルの連鎖が起こり、今期の売上に大きく影響を及ぼす事態となった」「ヘブンスそのはらのゴンドラも稼働し、中旬まではそこそこの売上が確保できていたが、台風10号の影響により8月25日～9月2日までの予約が3分の1に減少した」「8～9月の予約状況は好調。ただ台風10号の影響で、8月末の宿泊キャンセルが出た」

・電車、バスが止まっている時間の対応を一手に担うタクシー業界でも、24時間営業が当たり前でなくなっている地域もある。当地区のサービスが低下しないよう、地域で協力して労働力の確保対策を講じ、企業間での業務提携により機動力を強化する必要がある。

工期の延長が相次いで発表されるリニア各工区 ～ 厳しい自然条件・作業員確保～

令和6年度初めを前後して、リニア中央新幹線の開通が10年以上伸びることが明らかとなり地域に波紋が広がった。

その後長野県内の各工区において工事完了時期の目途が示されてきてきたのでまとめてみたい。全般に難しい条件での工事を余儀なくされており、当初計画からの遅れが顕著となった。

1. 山岳トンネルの状況

大鹿村の南アルプストンネル長野工区の現況は（右下図参照）、

- ・ 除山非常口 先進抗掘削中
- ・ 釜沢非常口 先進抗掘削中
- ・ 小渋川非常口 本坑掘削中
進捗率 先進抗 約4割
本坑 約2割

「地山不良区間の補助工法の実施、支保工を二重にするなど総施工時間が増加」、「今後の未掘削区間をこれまでの掘削実績を踏まえ精査」、「切羽災害防止のため、発破や掘削長の抑制、補助工法の追加施工」、「作業員数の確保が難しいことを踏まえた投入工数の精査」（大鹿村リニア連絡協議会資料）により、工期はトンネル掘削を各工区2.5年～3年遅れの2028（令和10）年とし、全体の完了を2030（令和12）年としている。

伊那山地トンネル青木川工区は、進捗が

- ・ 斜坑および調査坑 掘削完了
- ・ 本坑 約2割

であり、工期は同様の理由から、トンネル掘削工は約2.5年遅れの2027（令和9）年、全体の完了を2029（令和11）年とした（6月3日大河原地区説明会、6月4日大鹿村説明会）。

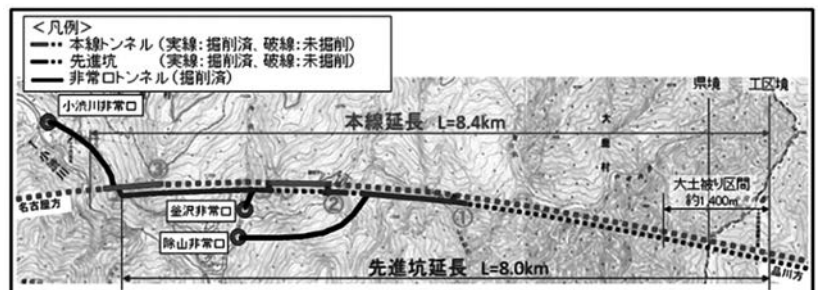
中央アルプストンネル松川工区（妙琴公園→清内路）は、「想定より弱地山区間が多く発現され、鋼アーチ支保工、ロックボルトを追加、1回の掘削長を短くしているため総施工時間が増加」、「今後の未掘削区間も同様に掘削時間を見直し」、「作業員の確保が難しいことを踏まえて、計画を見直し」（JR東海説明会資料）たことにより、工期は本線トンネルは約3.5年遅れの2029（令和11）年度。同工区全体の工期は2031（令和13）年となっている（9月17日切石地区説明会）。

風越山トンネル黒田工区（黒田非常口→松川）は、地質の状態が非常に悪く、黒田非常口施工ヤードから本坑に取り付く非常口トンネル（約1.1km）は令和5年8月の掘削開始から約2割の進捗であり、同工区の本線トンネル（約2.3km）を含めた全体の工期見通しは示されていない（9月19日羽場地区説明会）。



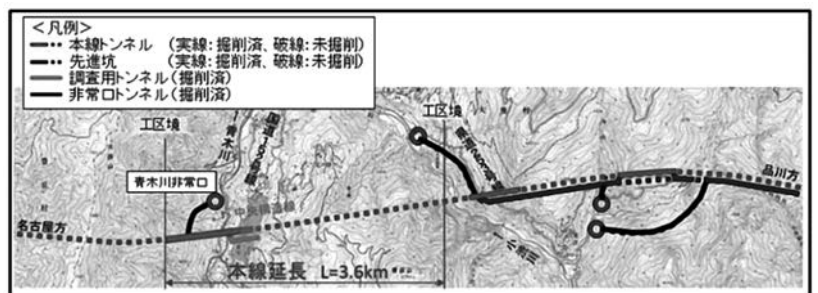
建設が進められる喬木高架橋

南アルプストンネル長野工区の状況



豊丘村リニア連絡協議会資料より（大鹿村HP）

伊那山地トンネル青木川工区の状況



豊丘村リニア連絡協議会資料より（大鹿村HP）

風越山トンネル黒田工区の状況



（羽場地区説明会資料より）

2. 明かり部の進捗状況

喬木村内の阿島北高架橋（約430m）、阿島トンネル（170m）、壬生沢川高架橋（470m）は、「トンネル、高架橋の施工計画の策定、工事車両ルート検討等に時間を要し、着工まで3年以上を費やした」ことから、工期を約3年延長の2029（令和11）年度とするとした（6月23日阿島北地区説明会、6月24日喬木村説明会）

3. 長野県駅（仮称）および駅周辺の進捗状況

リニア長野県駅（仮称）は、これまで土曾川橋梁の設置工事が主に進められてきたが、その他の座光寺高架橋（駅東部）、駅部高架橋（駅中央部）区間、土構造区間（駅西部）について説明があった（7月23日（上郷北条）、25日（座光寺地区）、28日（上郷地区））。

駅中心部から駅西にかけては段丘地形による高低差があり、駅構造が高架部分から地上部若しくは開削（掘割り）部へと遷移する。「用地取得手続きの長期化や埋蔵文化調査の一部未着手及び長期化」と「工事に先立つ導水路の付け替え協議において、将来の維持管理を含めた計画の深度化及び調整に時間を要したため」（JR東海説明会資料）、工期は駅東部（座光寺高架橋区間）、土曾川橋梁、駅中央部（高架橋区間）が2030（令和12）年度、駅西部（土構造区間）が2031（令和13）年度となる。

飯田市が進める駅周辺整備事業は、「JR東海及び長野県と調整を図りながら」（9月20日リニア推進特別委員会資料）としながらも駅北側、駅南側ともに2028（令和10）年度に部分共用開始の予定としている。飯田市は、駅周辺に賑わいを創出する施設の設置を進める方針で、今後運営形態や事業主体をどうするかなどの検討を進める予定。

4. 静岡県においても進展が

南アルプストンネル静岡工区はこの間工事着手に至らずで推移してきたが、本年5月に静岡県知事が交替して以降動きが出てきた。

9月17日、静岡県は県内における地質調査（高速先進長尺ボーリング）を容認するとJR東海に通知した。県と大井川利水関係協議会の合意が得られたとするもの（ANNnewsCH）。これまでボーリングは山梨工区のトンネル切羽から掘削し、静岡県境から316mの地点に達していたが、静岡県はそこから先のボーリング調査実施を認めてこなかった。工事による水資源の影響を議論する静岡県の専門部会がJR東海のリスク管理を評価して県境を越えてのボーリング調査を容認し、事態が動いた。（同）。

また9月12日、静岡県道189号線（三峰落合線）と県道60号を結び、静岡市中心部と大井川の井川地区との交通円滑化を図る新設トンネル工事の起工式が挙行された。リニアトンネル工事には直接関係しないが、リニア環境影響評価当初段階でJR東海と静岡市の合意事項に基づく設置工事であり、事業費140億円（当初予定額）をJR東海が全額負担する。これまで進められてきた準備工事に続き本工事へと移る。南アルプストンネル静岡工区掘削工事開始への布石の一つとして捉え、静岡県における事業の進捗に期待したい。

（飯田信用金庫 しんきん南信州地域研究所 リニア・三遠南信対策室 加藤 修平）



飯田の気温

近時は地球温暖化など気候変動の影響が言われるようになった。飯田下伊那でも暑い日が続き、その影響を身近に感じるようになった。

今回は、遠州地域の中心となる浜松や、東三河地域の中心である豊橋、リニア中央新幹線駅、北陸新幹線県内駅の観測地の比較などから、飯田の気温の特色をご紹介します。

1. 飯田の気温の特色「内陸性気候」～リニア中央新幹線駅、北陸新幹線長野県内駅、三遠南信主要都市の観測地点における、「夏日」、「真夏日」、「猛暑日」、「熱帯夜」、「冬日」、「真冬日」の日数比較

まず、リニア中央新幹線駅、北陸新幹線長野県内駅、三遠南信主要都市の観測地点における夏日、真夏日、猛暑日、熱帯夜、冬日、真冬日の日数から、飯田の気温の特徴を見る。

(1) 夏日、真夏日、猛暑日、熱帯夜

「夏日」は最高気温が25度以上の日をいい、飯田の観測地点では例年5月ころから現れる。「真夏日」は最高気温が30度以上の日を指し、最高気温が35度以上の日は「猛暑日」となる。「熱帯夜」は、夜間の最低気温が25度以上の夜のことを言うが、ここでは一日の最低気温が25度以上の日を指すものとする（以下同様）。

グラフ1はリニア中央新幹線駅（但し、橋本は観測地点がないため除いている。以下同様。）、北陸新幹線長野県内駅、三遠南信主要都市の観測地点における夏日、真夏日、猛暑日、熱帯夜の各日数の、1990年から2023年間の平均値を示したものの。

これを見ると、飯田の夏日、真夏日は意外に多く、浜松や東京などと大きな差はない。

しかし、大きく異なるのは熱帯夜の日数で、佐久、上田、軽井沢、飯山と同様、熱帯夜は、ほぼない。

夏日、真夏日が多いにもかかわらず熱帯夜が少ない理由の一つは、飯田の最高気温と最低気温の較差が大きいことにあるといわれる。

グラフ2は、1990年から2023年の間における8月各日の最低気温と最高気温の平均とその較差を示したもので、県内の諸観測地は較差が大きい傾向がある。

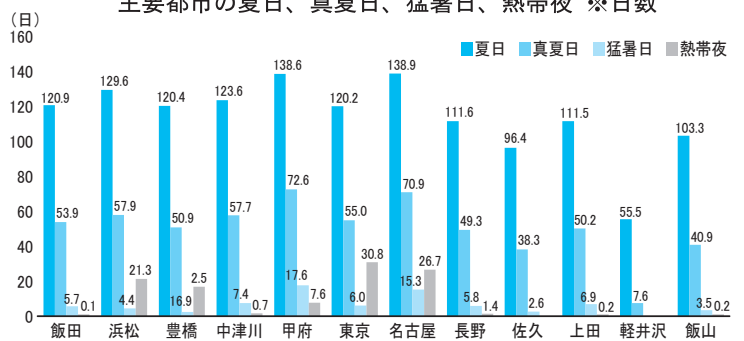
このように一日のうちで気温の変化が大きい気候型は内陸性気候と言われ、海岸から離れた内陸部に現れる。気温変化が大きいほか、一般的には湿度が低いことが特徴とされる。

(2) 冬日、真冬日

冬日とは「日最低気温が0℃未満の日」をいい、真冬日とは「日最高気温が0℃未満の日」のことをいう。

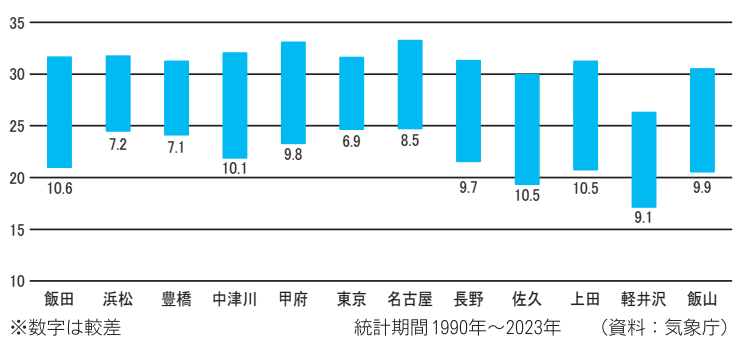
飯田の冬の気温は、浜松、豊橋、東京、名古屋のように温暖とは言い難い。しかし、冬日は長野、佐久、上田、軽井沢、飯山など県内北陸新幹線駅所在地より少なく、真冬日にいたっては1日程度である（グラフ3）。

グラフ1 リニア中央新幹線駅、北陸新幹線県内駅、三遠南信地域主要都市の夏日、真夏日、猛暑日、熱帯夜 ※日数



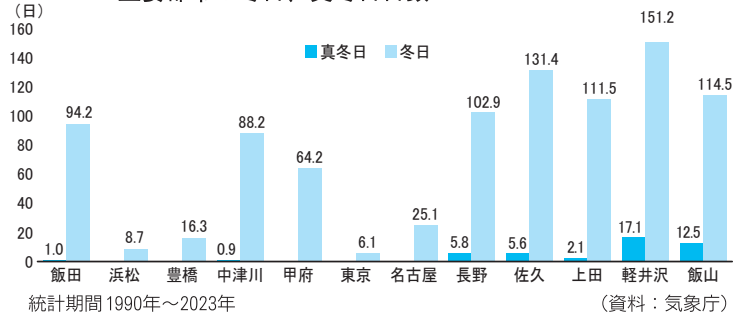
※熱帯夜とは、夜間の最低気温が25℃以上のことを指すが、ここでは日最低気温25℃以上の日数を熱帯夜日数として扱う。統計期間1990年～2023年（資料：気象庁）

グラフ2 各観測地点の最低気温と最高気温、及びその較差 8月



※数字は較差 統計期間1990年～2023年（資料：気象庁）

グラフ3 リニア中央新幹線駅、北陸新幹線県内駅、三遠南信地域主要都市の冬日、真冬日日数



統計期間1990年～2023年（資料：気象庁）

1月も、佐久、軽井沢と並んで飯田の最低気温と最高気温の較差は大きい。しかし、飯田の最低気温、最高気温は、佐久、上田、軽井沢、飯山よりも高い(グラフ4)。

こうしてみると、飯田の冬の気温は、太平洋沿岸都市のように温暖とは言いかねるが、佐久、上田、軽井沢、飯山などに比べれば、朝は寒いが、昼は暖かいと言えるだろう。

2. 飯田、リニア中央新幹線所在地の年平均気温(日平均)の推移等

(1) 近時温暖化が言われるようになった。そこで、飯田の年平均気温の推移を概観する(グラフ5)なお、1943~1945年は終戦前後のため除いている。以下同様)。

これを見ると、飯田でもやはり年平均気温が趨勢的に上昇しているように見受けられる。

(2) そこでこれを詳しく見るため、飯田の年平均気温について、1900-2000の平均と各年の年平均気温の偏差、及び偏差の5か年移動平均を見たのがグラフ6だが、これを見ると年を追うごとに偏差が拡大していることが分かる。飯田の年平均気温は変動を繰り返しながら上昇していると言えるだろう。

特に1990年代以降高温となる年が頻出している。2023年の偏差は1.81℃で、1900年以降最も偏差が大きかった。

(3) こうした傾向は、リニア中央新幹線駅所在地でも見られる。

グラフ7はリニア中央新幹線駅所在地の年平均気温(5か年移動平均)の推移を見たものだが、各地点とも、1990年頃から平均気温の上昇が著しい。名古屋の2023年の平均気温は1905年を2.4℃上回っているほか、東京は3.0℃、甲府は2.7℃、飯田は2.2℃上回っている。

(4) 最後に、2023年のリニア中央新幹線駅所在地の気温の状況を見る(表1)と、飯田、中津川の最高気温は東京、甲府、名古屋と変わらないが、夏日は少ない。加えて熱帯夜はない。

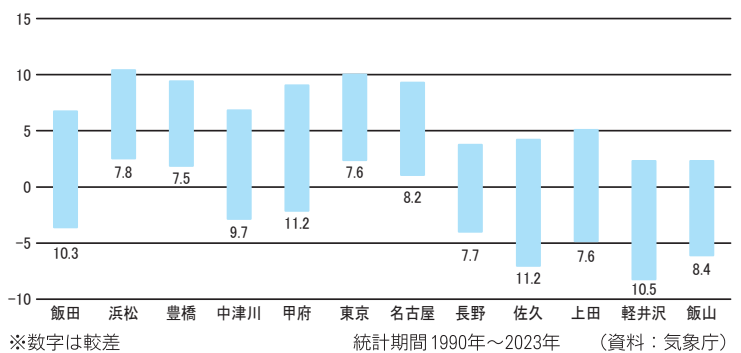
温暖化自体は憂うべきことにしても、環境文化都市飯田はリニア中央新幹線駅の中で、特に夏は快適に過ごすことができるのではないかと。

表1 2023年の気温等(日平均)

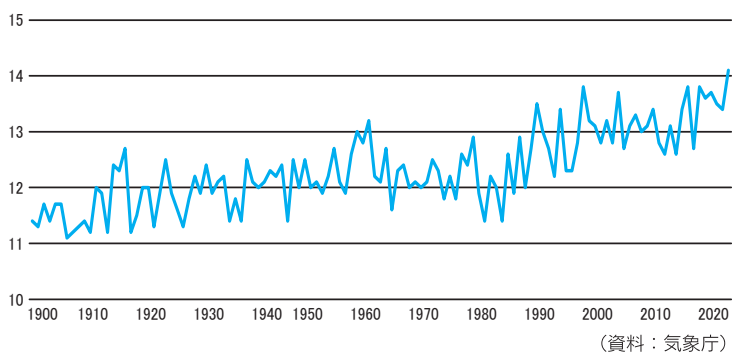
	最低気温(℃)	最高気温(℃)	真冬日(日)	冬日(日)	夏日(日)	真夏日(日)	猛暑日(日)	熱帯夜(日)
飯田	-9.0	37.0	1	84	129	81	16	0
東京	-3.4	37.7	0	9	143	90	22	57
甲府	-8.6	38.7	0	52	152	91	35	17
中津川	-8.2	37.3	2	82	134	82	17	0
名古屋	-3.8	38.9	0	17	151	93	32	49

(資料:気象庁)

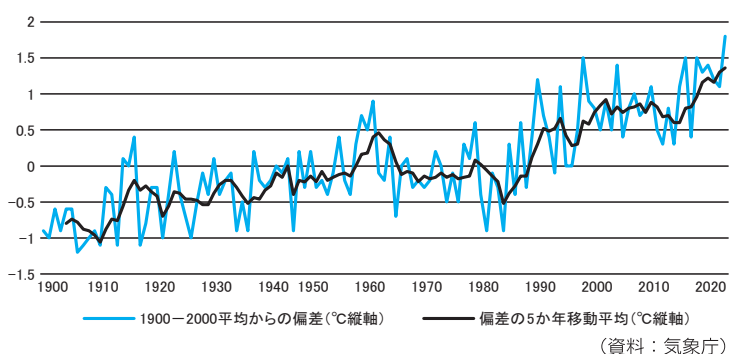
グラフ4 各観測地点の最低気温と最高気温、及びその較差 1月



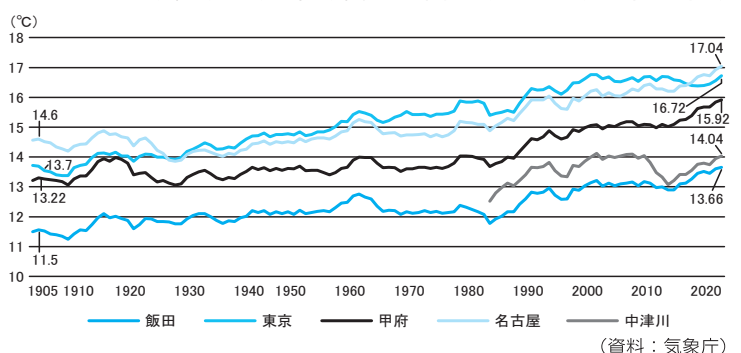
グラフ5 飯田の年平均気温の推移



グラフ6 飯田の年平均気温偏差



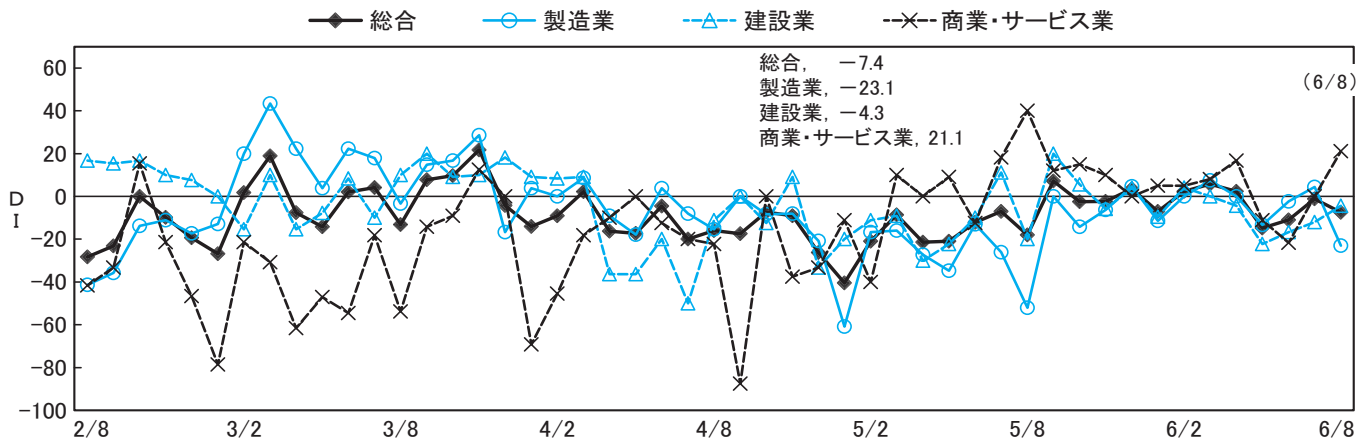
グラフ7 飯田、東京、甲府、中津川、名古屋の年平均気温の推移(5か年移動平均)



(文責:飯田信用金庫 しんきん南信州地域研究所 中村 達)

飯伊地区全産業景況DIの推移

飯伊地区景況DI（本誌調査）



飯伊地区主要経済指標

主要指標		実数	前月比	前年同月比	前々年同月比	令和元年同月比
倒産件数 (負債総額1千万円以上) (7月)	県内	8件	(前月 10件)	(前年同月 7件)	(前々年同月 3件)	(令和元年同月 5件)
	飯伊	0件	(前月 0件)	(前年同月 2件)	(前々年同月 0件)	(令和元年同月 0件)
住宅着工戸数 (飯田市、下伊那郡 総数) (7月)		62戸	67.6%	5.1%	△ 23.5%	△ 3.1%
有効求人倍率(パートを含む実数) (ハローワーク飯田管内) (7月)		1.34倍	(前月 1.33倍)	(前年同月 1.58倍)	(前々年同月 1.55倍)	(令和元年同月 1.48倍)
自動車新規登録台数 (松本事務所管内)	新車	1,759台	△ 19.8%	△ 4.4%	4.5%	△ 21.3%
	中古車	648台	△ 16.6%	△ 5.0%	4.7%	4.2%
軽自動車新規登録台数 (全国軽自動車協会連合会) (7月)	新車	3,583台	1.1%	5.1%	△ 4.2%	△ 11.8%
	中古車	1,130台	△ 0.4%	13.3%	9.0%	12.2%
中央道利用台数 (飯田インター分)	入	104,169台	4.6%	△ 0.2%	10.3%	△ 19.0%
	出	103,547台	2.4%	△ 2.3%	7.4%	△ 20.2%
中央道利用台数 (松川インター分)	入	60,095台	6.0%	△ 8.4%	0.1%	△ 30.7%
	出	57,998台	5.6%	△ 6.2%	2.0%	△ 30.4%
中央道利用台数 (園原インター分)	入	16,933台	18.0%	△ 3.6%	△ 8.1%	△ 17.2%
	出	15,598台	49.2%	△ 6.7%	△ 11.2%	△ 23.3%
中央道利用台数 (飯田山本インター分)	入	56,353台	6.8%	5.7%	15.0%	3.2%
	出	56,550台	1.9%	3.6%	13.9%	3.0%
中央道利用台数 (座光寺スマートインター分)	入	44,315台	0.4%	7.5%	27.4%	-%
	出	44,087台	△ 2.1%	13.6%	30.6%	-%
信用保証協会 新規保証件数 (飯田支店管内)		106件	△ 7.0%	△ 10.2%	5.0%	△ 26.9%
信用保証協会 代位弁済件数 (飯田支店管内)		1件	(前月 10件)	(前年同月 0件)	(前々年同月 0件)	(令和元年同月 7件)
高速バス乗車人数	飯田～新宿	29,041人	37.2%	2.6%	61.6%	△ 21.2%
	飯田～名古屋	16,210人	24.4%	△ 2.6%	47.3%	△ 29.1%
	飯田～長野	3,891人	3.8%	△ 1.7%	29.9%	△ 57.9%
	伊那・駒ヶ根～新宿	22,581人	25.6%	3.1%	75.3%	△ 23.3%
市内循環バス乗車人数	左回り	3,143人	△ 0.8%	16.7%	19.0%	△ 15.9%
	右回り	3,175人	△ 0.9%	10.3%	20.1%	△ 12.2%